

【入出金明細照会[ANSER]CSV データの編集仕様新旧対比表】

○ヘッダーレコード

項目名	サイズ (バイト)	旧システムから出力したデータ	新システムから出力したデータをデータ変換ツールで変換
データ区分	1	固定値「1」	←
作成日	8	ビジネスインターネットバンキングからデータを取得した日付(YYYYMMDD)	データ変換ツールで変換を実行した日付(YYYYMMDD)
店舗名	60	照会口座の店舗名	←
科目名	20	照会口座の科目名	←
口座番号	10	照会口座の口座番号	←
名義人	48	照会口座の口座名義	「 」(スペース)

○データレコード (※2)

項目名	サイズ (バイト)	旧システムから出力したデータ	新システムから出力したデータをデータ変換ツールで変換
データ区分	1	固定値「2」	←
取引日	8	取引日(MM 月 DD 日)	←
摘要 1	20	摘要等を出力	摘要等を出力 (セットされる内容や表現は旧システムと異なります)
取引金額	24	出金金額(先頭に「¥」、3桁毎に「,」編集)	←
摘要 2	24	起算日取引時に出力(キサンビ MM-DD)	←
残高	18	残高(先頭に「¥」、3桁毎に「,」編集)	←

(※2) 出金と入金で項目の並び順が異なります

出金 : 「データ区分」「取引日」「摘要 1」「取引金額」「摘要 2」「残高」

入金 : 「データ区分」「取引日」「摘要 1」「摘要 2」「取引金額」「残高」

【入出金明細照会[ANSER] CSV データ形式】

○ヘッダーレコード

項目名	データ長 (バイト)	設定値
照会口座	C(8)	固定値「照会口座」
番号	C(4)	固定値「番号」
勘定日	C(30)	固定値「勘定日」
起算日	C(30)	固定値「(起算日)」
出金金額	C(30)	固定値「出金金額(円)」
入金金額	C(30)	固定値「入金金額(円)」
小切手区分	C(10)	固定値「小切手区分」
残高	C(30)	固定値「残高(円)」
取引区分	C(8)	固定値「取引区分」
明細区分	C(8)	固定値「明細区分」
金融機関名	C(10)	固定値「金融機関名」
支店名	C(6)	固定値「支店名」
摘要	C(4)	固定値「摘要」

○データレコード (1/2)

項目名	データ長 (バイト)	設定値
照会口座	C(71)	画面上の「照会口座」
番号	C(5)	画面上の「番号」
勘定日	C(14)	画面上の「勘定日」 YYYY 年 MM 月 DD 日
起算日	C(14)	画面上の「起算日」 YYYY 年 MM 月 DD 日
出金金額	C(15)	画面上の「出金金額」 3 桁毎に「,」編集
入金金額	C(15)	画面上の「入金金額」 3 桁毎に「,」編集
小切手区分	C(6)	固定値「小切手」「他店券」のいずれかを出力

○データレコード (2/2)

項目名	データ長 (バイト)	設定値
残高	N(18)	画面上の「残高」 3桁毎に「,」編集
取引区分	C(8)	固定値「振込入金」「取立入金」「入金」「出金」「現金」「振替入金」「取立」「振込」「他券振込」「振替支払」「交換払」「小切手」「他店券」のいずれかを出力
明細区分	C(4)	固定値「取消」「欠番」のいずれかを出力
金融機関名	C(15)	画面上の「金融機関名」
支店名	C(15)	画面上の「支店名」
摘要	C(69)	画面上の「摘要」

※データ長欄の記号は C:文字、N:数字 です

※文字コードは S-JIS です

※各項目は「"」(ダブルクォーテーション)で囲みます

※各項目は「,」(カンマ)で区切ります

※改行コードは「CRLF」です

※複数明細が存在する場合は、データレコード部分を明細数分繰り返します

※上記の画面上とは新システムの「入出金明細照会[ANSER]結果画面 (BNMR002)」をさします